

## 開催にあたって

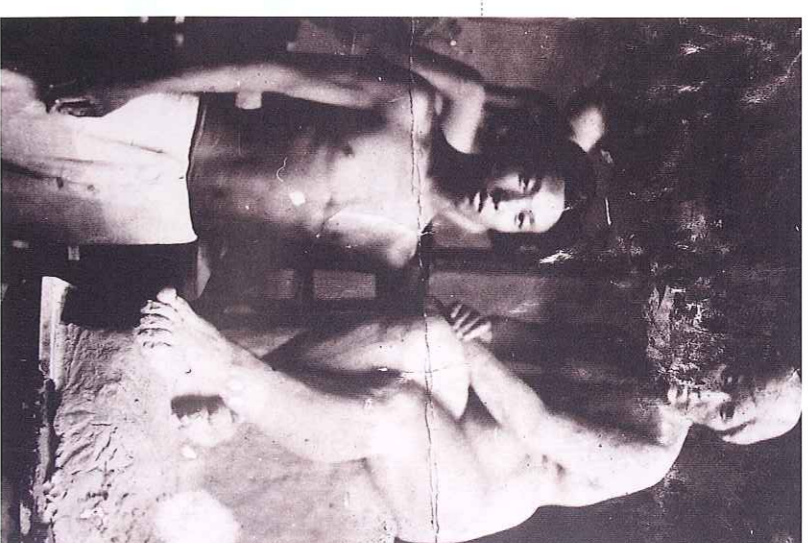
平成29年は、伊達政宗公生涯から450年の記念の年となります。仙台城址のシンボルとして有名な伊達政宗騎馬像は、柴田町入間田出身の彫刻家、小室達によって制作され、昭和10年に完成しました。「自分一生の大事業と心して」小室が心血を注いで制作に打ち込んだ騎馬像は、脚光を浴びたわずか数年後に軍需用の金属回収で徴収されてしまいます。

本展は、騎馬像の石膏原型や制作過程の写真、小室達のスクラップブックなどにより、その制作にまつわる光と影に焦点を当てるとともに、長年に渡る小室の制作活動を支えた人々に関する作品や写真、また若くして才能を開花させた小室の代表作品を紹介します。

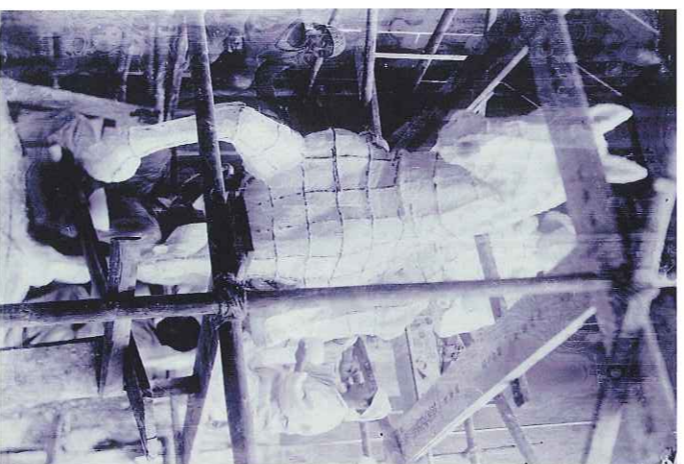
仙台城址の政宗騎馬像と  
台座レリーフ



若かりし頃の「小室達」



## 展示1 「伊達政宗騎馬像制作の光と影」



昭和9年11月15日  
石膏外型塗りかた終わる



「騎馬像制作過程写真」



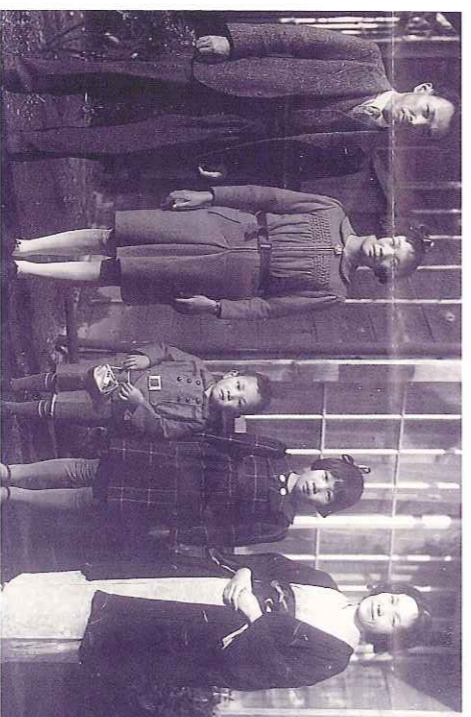
昭和10年5月9日  
伊達伯爵視察あり



「出陣式の写真」

「伊達政宗騎馬像の旧銘板拓本」

## 展示2 「小室達を支えた人々」



「家族写真」



「木馬会写真」

### 小室達をささえた「木馬会」

小室の制作活動を経済面からささえた白石中学校の同級生たちを中心とした「木馬会」がある。木馬会の会員は小室の支援のみならず、白石中学校の諸行事にも協力し、小室もまた協力を惜しまなかった。



「構想」



「父子像」



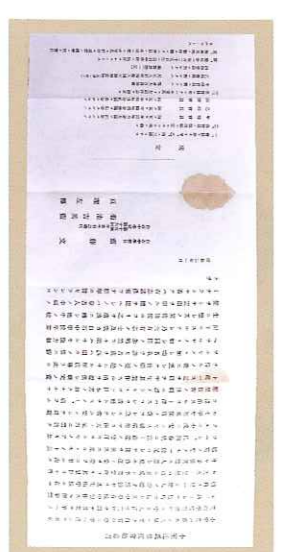
「静子像」



「少女像」



「聖観世音菩薩立像」



「小室達氏後援会趣意書」